

## 『英語科』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和5年〇月〇日 第〇校時(50分)

(2) 場 所 1年1組教室

(3) 学年・学級 第1学年1組(36名)

使用教科書 『BLUE MARBLE ENGLISH COMMUNICATION I』(数研出版)

(4) 単 元 名 Lesson 8 What to Do with Too Many Tourists 教科書 pp.115~130

(5) 指導する生徒の状況

## 【既習事項】

中学校3年間の学習事項。

## 【「CAN-DO リスト」形式の学習到達目標】

日常的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うことができる。

## 【単元の目標】

- 聞いたり読んだりしたことを基に、多くの観光客が日本に訪れることについて、自分の考えを整理し、ペアやグループで話す。
- 互いに協力しながら、質問したり意見を交換したりする。
- 話し合いや意見の交換を円滑に行うために、必要な表現や方法についての知識を身に付ける。

## 【生徒の状況】

- ・英語学習が比較的好きと回答した生徒が70%、あまり好きではないと回答した生徒が30%である。
- ・授業は基本的に英語で行い、そのことに抵抗がある生徒はほとんどいない。
- ・ペア・グループ活動は積極的に行うことができるが、正確に表現することに課題がある。

(6) 指導計画(全6時間)

次(時数)	学習内容	活動形態	評価計画
第一次 (1時間)	○単元の見通しを持ち、単元のゴール活動を知る。 ○ディスカッションに必要な表現を知る。	一斉 個別・ペア	
第二次 (4時間)	○Part1のオーバーツーリズムの言葉の意味とその背景について読み、自分の考えを整理し、伝え合ったり、質問に答えたりする。 ○言語材料について理解する。	一斉 個別・ペア グループ	・知識・技能
	○Part2のオーバーツーリズムに対しての各国の取り組みについて読み、自分の考えを整理し、伝え合ったり、質問に答えたりする。	一斉 個別・ペア グループ	・思考・判断・表現 ・主体的に学習に 取り組む態度
	○Part3の日本におけるオーバーツーリズムについて読み、自分の考えを整理し、伝え合ったり、質問に答えたりする。 ○言語材料について理解する。	一斉 個別・ペア グループ	・知識・技能
	○Part4のオーバーツーリズムに対する京都の取り組みについて読み、自分の考えを整理し、伝え合ったり、質問に答えたりする。	一斉 個別・ペア グループ	・思考・判断・表現 ・主体的に学習に 取り組む態度
第三次 (1時間)	○多くの観光客が日本に訪れることについて、自分の考えを整理し、伝え合ったり、質問に答えたりする。	一斉 個別・ペア グループ	・知識・技能 ・思考・判断・表現 ・主体的に学習に 取り組む態度

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。

## 『英語科』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和5年〇月〇日 第〇校時(50分)

(2) 場 所 1年1組教室

(3) 学年・学級 第1学年1組(36名)

使用教科書 『BLUE MARBLE ENGLISH COMMUNICATION I』(数研出版)

(4) 単 元 名 Lesson 8 What to Do with Too Many Tourists 教科書 pp.115~130

(5) 指導する生徒の状況

## 【既習事項】

中学校3年間の学習事項。

## 【「CAN-DO リスト」形式の学習到達目標】

日常的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うことができる。

## 【単元の目標】

- 聞いたり読んだりしたことを基に、多くの観光客が日本に訪れることについて、自分の考えを整理し、ペアやグループで話す。
- 互いに協力しながら、質問したり意見を交換したりする。
- 話し合いや意見の交換を円滑に行うために、必要な表現や方法についての知識を身に付ける。

## 【生徒の状況】

- ・英語学習が比較的好きと回答した生徒が70%、あまり好きではないと回答した生徒が30%である。
- ・授業は基本的に英語で行い、そのことに抵抗がある生徒はほとんどいない。
- ・ペア・グループ活動は積極的に行うことができるが、正確に表現することに課題がある。

(6) 指導計画(全6時間)

次(時数)	学習内容	活動形態	評価計画
第一次 (1時間)	○単元の見通しを持ち、単元のゴール活動を知る。 ○ディスカッションに必要な表現を知る。	一斉 個別・ペア	
第二次 (4時間)	○Part1のオーバーツーリズムの言葉の意味とその背景について読み、自分の考えを整理し、伝え合ったり、質問に答えたりする。 ○言語材料について理解する。	一斉 個別・ペア グループ	・知識・技能
	○Part2のオーバーツーリズムに対する各国の取り組みについて読み、自分の考えを整理し、伝え合ったり、質問に答えたりする。	一斉 個別・ペア グループ	・思考・判断・表現 ・主体的に学習に 取り組む態度
	○Part3の日本におけるオーバーツーリズムについて読み、自分の考えを整理し、伝え合ったり、質問に答えたりする。 ○言語材料について理解する。	一斉 個別・ペア グループ	・知識・技能
	○Part4のオーバーツーリズムに対する京都の取り組みについて読み、自分の考えを整理し、伝え合ったり、質問に答えたりする。	一斉 個別・ペア グループ	・思考・判断・表現 ・主体的に学習に 取り組む態度
第三次 (1時間)	○多くの観光客が日本に訪れることについて、自分の考えを整理し、伝え合ったり、質問に答えたりする。	一斉 個別・ペア グループ	・知識・技能 ・思考・判断・表現 ・主体的に学習に 取り組む態度

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。

## 『英語科』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和5年〇月〇日 第〇校時(50分)

(2) 場 所 1年1組教室

(3) 学年・学級 第1学年1組(36名)

使用教科書 『BLUE MARBLE ENGLISH COMMUNICATION I』(数研出版)

(4) 単 元 名 Lesson 8 What to Do with Too Many Tourists 教科書 pp.115~130

(5) 指導する生徒の状況

## 【既習事項】

中学校3年間の学習事項。

## 【「CAN-DO リスト」形式の学習到達目標】

日常的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うことができる。

## 【単元の目標】

- 聞いたり読んだりしたことを基に、多くの観光客が日本に訪れることについて、自分の考えを整理し、ペアやグループで話す。
- 互いに協力しながら、質問したり意見を交換したりする。
- 話し合いや意見の交換を円滑に行うために、必要な表現や方法についての知識を身に付ける。

## 【生徒の状況】

- ・英語学習が比較的好きと回答した生徒が70%、あまり好きではないと回答した生徒が30%である。
- ・授業は基本的に英語で行い、そのことに抵抗がある生徒はほとんどいない。
- ・ペア・グループ活動は積極的に行うことができるが、正確に表現することに課題がある。

(6) 指導計画(全6時間)

次(時数)	学習内容	活動形態	評価計画
第一次 (1時間)	○単元の見通しを持ち、単元のゴール活動を知る。 ○ディスカッションに必要な表現を知る。	一斉 個別・ペア	
第二次 (4時間)	○Part1のオーバーツーリズムの言葉の意味とその背景について読み、自分の考えを整理し、伝え合ったり、質問に答えたりする。 ○言語材料について理解する。	一斉 個別・ペア グループ	・知識・技能
	○Part2のオーバーツーリズムに対しての各国の取り組みについて読み、自分の考えを整理し、伝え合ったり、質問に答えたりする。	一斉 個別・ペア グループ	・思考・判断・表現 ・主体的に学習に 取り組む態度
	○Part3の日本におけるオーバーツーリズムについて読み、自分の考えを整理し、伝え合ったり、質問に答えたりする。 ○言語材料について理解する。	一斉 個別・ペア グループ	・知識・技能
	○Part4のオーバーツーリズムに対する京都の取り組みについて読み、自分の考えを整理し、伝え合ったり、質問に答えたりする。	一斉 個別・ペア グループ	・思考・判断・表現 ・主体的に学習に 取り組む態度
第三次 (1時間)	○多くの観光客が日本に訪れることについて、自分の考えを整理し、伝え合ったり、質問に答えたりする。	一斉 個別・ペア グループ	・知識・技能 ・思考・判断・表現 ・主体的に学習に 取り組む態度

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。

## 『英語科』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和5年〇月〇日 第〇校時(50分)

(2) 場 所 1年1組教室

(3) 学年・学級 第1学年1組(36名)

使用教科書 『BLUE MARBLE ENGLISH COMMUNICATION I』(数研出版)

(4) 単 元 名 Lesson 8 What to Do with Too Many Tourists 教科書 pp.115~130

(5) 指導する生徒の状況

## 【既習事項】

中学校3年間の学習事項。

## 【「CAN-DO リスト」形式の学習到達目標】

日常的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うことができる。

## 【単元の目標】

- 聞いたり読んだりしたことを基に、多くの観光客が日本に訪れることについて、自分の考えを整理し、ペアやグループで話す。
- 互いに協力しながら、質問したり意見を交換したりする。
- 話し合いや意見の交換を円滑に行うために、必要な表現や方法についての知識を身に付ける。

## 【生徒の状況】

- ・英語学習が比較的好きと回答した生徒が70%、あまり好きではないと回答した生徒が30%である。
- ・授業は基本的に英語で行い、そのことに抵抗がある生徒はほとんどいない。
- ・ペア・グループ活動は積極的に行うことができるが、正確に表現することに課題がある。

(6) 指導計画(全6時間)

次(時数)	学習内容	活動形態	評価計画
第一次 (1時間)	○単元の見通しを持ち、単元のゴール活動を知る。 ○ディスカッションに必要な表現を知る。	一斉 個別・ペア	
第二次 (4時間)	○Part1のオーバーツーリズムの言葉の意味とその背景について読み、自分の考えを整理し、伝え合ったり、質問に答えたりする。 ○言語材料について理解する。	一斉 個別・ペア グループ	・知識・技能
	○Part2のオーバーツーリズムに対しての各国の取り組みについて読み、自分の考えを整理し、伝え合ったり、質問に答えたりする。	一斉 個別・ペア グループ	・思考・判断・表現 ・主体的に学習に 取り組む態度
	○Part3の日本におけるオーバーツーリズムについて読み、自分の考えを整理し、伝え合ったり、質問に答えたりする。 ○言語材料について理解する。	一斉 個別・ペア グループ	・知識・技能
	○Part4のオーバーツーリズムに対する京都の取り組みについて読み、自分の考えを整理し、伝え合ったり、質問に答えたりする。	一斉 個別・ペア グループ	・思考・判断・表現 ・主体的に学習に 取り組む態度
第三次 (1時間)	○多くの観光客が日本に訪れることについて、自分の考えを整理し、伝え合ったり、質問に答えたりする。	一斉 個別・ペア グループ	・知識・技能 ・思考・判断・表現 ・主体的に学習に 取り組む態度

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。